

おはようございます。校長をやらせていただいています隅田です。平成25年度の始まりに際し、挨拶させていただきます。

初めに、保護者の皆様には いつも堺ラグビースクールの活動にご協力ご支援をいただきまして、誠にありがとうございます。本日は残念ながら雨天のため、ダイキンさんの食堂をお借りしての開校式となりました。2年前にも申しましたが好きなラグビーが何不自由無くできる環境に感謝の気持ちを持って、新年度の開校式を迎えることができるのをうれしく思います。本年度は当スクールが開校しましてより27年目を迎えます。開校当初からの指導員の方がまだたくさん残っておられますが、保護者の皆様におかれましては開校時のいきさつをご存じないと思いますので、本日はお時間をいただいて「堺ラグビースクールがどのようにして開設されたのか」を簡単にお話したいと思います。

初代の中西校長と杉江副校長は今も残っていただいておりますが、スクール創設のいきさつは、当時地区の青少年指導委員をされておりました中西先生と、当時の堺東警察署（今の北堺警察署ですが）の善積（よしずみ）署長とが会合の席で、お互いラグビーをやっていたとの話から、当時は中学校が非行化の嵐の中で荒れていた時代でした。そこで青少年の健全育成にスポーツの力を利用しよう。共にラグビーをやってこられたお二人は、当時大阪府下に広まりかけていたラグビースクールをと、意気投合されたと聞いております。

そこで、まず指導者はどうする？とのことで、臨界ラグビーリーグの新日鉄の部長であった杉江先生に話が行き、更にクラブチームの泉州リーグ参加の、各チーム選手に指導員のお願いをして、大阪府警、新日鉄、堺市役所、バーバリアンズ、泉州クラブなどから多くの指導員を得たとのことでした。

そして、グラウンドはどうする？との事は、善積署長からこのダイキン工業堺製作所の所長さんをお願いされて、開校時からダイキンさんのグラウンドをお借りすることが出来ました。また、ダイキンさんでは地域社会貢献として、当時の総務課長であった大塚様をラグビースクールの副校長兼事務局長として推薦されて、ここに堺ラグビースクールの礎（いしずえ）が築かれたのであります。

スクールの設立に際して多くの人たちの尽力があった事を、現在スクールに関わっている私達は忘れてはなりません。

そして、もう一つ忘れてはならないのは熱中症による死亡事故を起こしたことです。夏合宿の厳しい環境の中で起きた事とは言え、スクールの運営や指導に問題があった事で活動を停止して喪に服しました。そして事故原因の究明を行っている中で保護者の皆様からは、子供達のためにスクールを再開して欲しい、また亡くなられた生徒さんのご両親様からも

再開を望まれるご意思を受けて、指導員全員で2度と事故を起こさないためにどうすればよいかと議論を尽くして「安全対策マニュアル」を作成して再開に漕ぎつけたのでした。

「安全対策マニュアル」の冒頭に記されている

「活動再開に際しての安全宣言

一．二度と重大事故をおこしません

一．安全を最優先して、安全には妥協しません」

この言葉は、スクール活動において、片時たりとも忘れてはなりません。そして、これを実行するのは、私達大人が「一人ひとりの子供にいつも目をくばり、気をくばる」ことだと思います。

さて、生徒諸君には、年度の始まりにあたって一言言っておきたい事があります。昨年は「ラグビーを好きになってください」と言いました。

そして、「好きなラグビーを上手になるためには、目標を持つことです」と。

今年は、「スポーツで大事な事は、フェアプレイの精神だ」ということです。

ラグビーでは「ノーサイド」と言って、試合の後は“敵も味方もない”ということでアフターマッチファンクション(試合の後の親睦会)で選手同士の親睦を図るのが本来なのですが、通常の交流では試合だけで終わっていることが残念です。

ノーサイドの精神が実行出来ない現在の状況の下では、試合の中において「フェアプレイの精神」を実行することがより重要なことになってくると思うのです。

「フェアプレイの精神」とは？ 答えられる人はいますか？

(反則をしない事、ルールを守る事、天地に恥じない行動を取る事)

(高校野球の選手宣誓で、我々選手一同はフェアプレイの精神に則り正々堂々と戦う事を誓います。と言っていますね)

日本語で言うと「正々堂々」と言います。正(正しい事)と正がぶつかり合い堂々としていることです。堂々とは「天地に恥じない態度、行動」です。

天知る、地知ると言いまして、誰も見ていないと思っても天地は見ているのだから 恥ずかしい行動はしてはならないということなのです。

大人の皆さんは「恥を知る」と言って戒めの言葉を使います。

この精神をスポーツは、子供にも教えることができます。

言いたい事は「スポーツマンならフェアプレイの精神を忘れるな。フェアプレイを実行しろ」ということです。

(小さい子にはお話が難しかったかもしれませんが、この事はこれから何遍も言いますから、だんだんと判ってくれると思います)

今生徒達に言いました事は、指導者の先生方に十分に理解していただいて、生徒達が「フ

フェアプレイ」を意識するようにご指導願いたいと思っております。

「堺ラグビースクールはフェアプレイ精神がしっかりと浸透しているスクールだ」と言われるように、みんなできちんとやっていきましょう。

堺ラグビースクール 校長 隅田輝雄